

2024年6月27日

# やまぎん企業景況サーベイ

## (2024年4-6月)

### ～景況感は依然「悪化超」ながら1年ぶりに改善～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

#### 【調査要領】

対象期間 2024年4-6月  
調査期間 2024年5月1日～23日  
有効回答数 489社/600社（回答率 81.5%）

#### 【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

#### 【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI (Business Survey Index)」を用いて表します。

#### ①業況判断 BSI <前年同期比>

前年(2023年4-6月)に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合

#### ②売上高 BSI <前年同期比>

前年(2023年4-6月)に比べ売上高が「増加する」企業の割合 - 「減少する」企業の割合

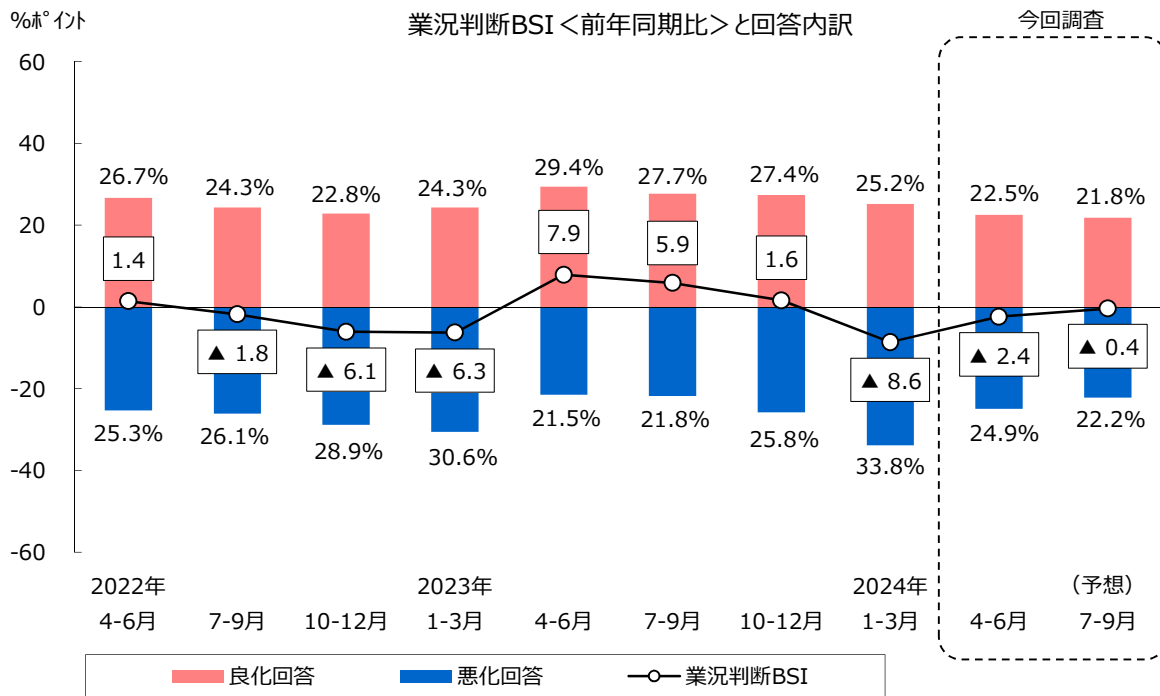
#### ③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合 - 「少ない」とする企業の割合

やまぎん情報開発研究所  
(山形銀行 営業支援部)

# 1. 業況判断 B S I <前年同期比>

～製造業、非製造業ともに1年ぶりに上昇に転じる～



## (1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI <前年同期比> <前年同期 (2023年 4-6月) に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合> は、前回調査 (2024年 1-3月) に比べて +6.2 ポイントの ▲2.4 となった。依然として「悪化超」のマイナス水準にあるものの、1年(4期)ぶりに上昇に転じている。

回答内訳をみると、良化回答は 22.5% で、前回 (25.2%) を下回ったものの、悪化回答が 24.9% と前回 (33.8%) から大幅に低下したため、BSI の上昇につながった。非製造業を中心に暖冬による悪影響が一巡したことに加えて、製造業において低迷していた半導体関連受注に持ち直しの兆しがみられることなども、業況を下支えしたと考えられる。

こうしたなか、2024年 7-9月の予想は、今

回調査比 +2.0 ポイントの ▲0.4 で、実現すれば、コロナ・ショックからの回復期にあたる 2020年 4-6月～2021年 4-6月以来、約3年ぶりに2期以上の連続した上昇となる見込み。

## (2) 業種別の動向

以下では、業種別の BSI 水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業種	2023年				2024年		前回比	今回比	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月		7-9月	今回比
全産業	▲6.3	7.9	5.9	1.6	▲8.6	▲2.4	+6.2	▲0.4	+2.0

### ① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比+6.6 ポイントの▲4.7 となった。前回調査時点における予想(4.9)を大きく下回ったものの、1年ぶりに上昇に転じた。内訳をみると、9業種のうち前环比上昇が5業種、横ばいが3業種、低下が1業種となった。

**食品・飲料** 価格改定効果を好感する企業が見られたものの、円安で原材料価格の上昇が続いていることなどから、BSIは横ばいとなった。

**繊維・衣服** BSIは8期連続で「良化超」となっているが、価格転嫁による買い控えへの懸念等から、製造業では唯一前环比で低下した。

**木材・家具** 単価上昇を好感する企業もあり前期比では上昇したが、建設需要が低迷するなかで、BSIは全業種中最も低水準となっている。

**窯業・土石** 首都圏でコンクリート製品の需要増が見込まれる半面、県内需要は低調推移が続いており、全体ではBSIは横ばい。

**鉄鋼・金属** 半導体製造装置関連需要に若干ながら動きがみられ、BSIは依然「悪化超」ながら前环比では2期連続で上昇している。

**電気機械** BSIは9期連続で「悪化超」となっているが、電子部品の在庫調整の進展等を好感する企業もあり、前环比では3期ぶりに上昇。

**一般機械** BSIは6期連続で「悪化超」となっているが、半導体製造装置関連の受注に若干の動きがみられることなどから、2期連続で上昇。

**輸送機械** 不正認証の影響があったメーカー以外からの受注増などで、BSIは前环比で1年(4期)ぶりに上昇したが、BSIは依然低水準。

**その他製造業** 印刷を中心に前年並みの業況と

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	時期	2023年				2024年		前环比	(予想)	
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月		7-9月	今回比
製造業		▲ 6.3	3.1	3.1	▲ 1.4	▲ 11.3	▲ 4.7	+6.6	▲ 0.4	+4.3
食品・飲料		0.0	17.1	16.7	10.0	0.0	0.0	±0.0	▲ 5.1	-5.1
繊維・衣服		33.3	50.0	64.3	33.4	46.7	20.0	-26.7	▲ 26.7	-46.7
木材・家具		▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 20.0	53.4	▲ 46.1	▲ 26.7	+19.4	20.0	+46.7
窯業・土石		10.0	0.0	44.4	30.0	0.0	0.0	±0.0	▲ 10.0	-10.0
鉄鋼・金属		18.2	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 26.1	▲ 4.8	+21.3	4.8	+9.6
電気機械		▲ 8.0	▲ 11.6	▲ 7.4	▲ 20.7	▲ 20.7	▲ 12.0	+8.7	▲ 20.0	-8.0
一般機械		▲ 23.7	▲ 17.7	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 25.7	▲ 7.0	+18.7	7.1	+14.1
輸送機械		0.0	28.6	27.3	18.2	▲ 25.0	▲ 15.4	+9.6	▲ 7.7	+7.7
その他製造業		▲ 21.2	9.4	9.4	17.7	0.0	0.0	±0.0	16.7	+16.7

する回答が多くなっており、BSIは横ばい。

2024年7-9月の予想については、今回調査比+4.3ポイントの▲0.4となっている。二極化含みであるものの、半導体関連や自動車生産の回復予想から2期連続の上昇が見込まれている。

## ② 非製造業

非製造業の業況判断 BSI は、前环比+6.1 ポイントの▲0.7 となった。前回調査時点における予想(▲6.2)を大きく上回り、製造業と同様に1年ぶりに上昇に転じている。ただし、内訳をみると6業種のうち上昇が3業種、低下が3業種と方向感は二分されている。

**建設業・不動産業** BSI は3期ぶりに上昇したものの、価格高騰等による建設需要の低迷がみられ、依然「悪化超」の水準となっている。

**運輸業** 貨物輸送を中心に運賃の値上げを好感する企業が増え、BSI は3期ぶりに上昇し全業種中最も高水準となった。

**卸売業** 仕入価格の上昇が続くなか、建設需要の低迷から建材等の不振が目立ち、BSI は小幅ながら5期連続で低下している。

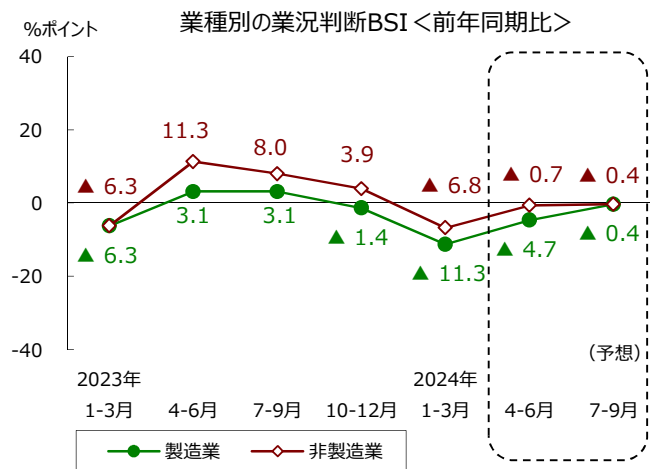
**小売業** BSI は3期連続で「良化超」を維持

しているが、価格上昇をうけた販売減もみられ、前环比では2期連続で低下している。

**旅館・ホテル, 飲食業** 全国旅行支援の効果はく落により、前年同期に比べ宿泊客が減少していることなどから、BSI は大幅に低下。

**サービス業・その他** 価格改定を好感する企業が増えたことなどから、BSI は2期連続で上昇。

2024年7-9月の予想については、同+0.3ポイントの▲0.4で、価格改定による顧客の買い控えを懸念する見方が根強いことなどから、横ばいに近い予想が示されている。



業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	2023年				2024年			前环比	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	今回比	
非製造業	▲ 6.3	11.3	8.0	3.9	▲ 6.8	▲ 0.7	+6.1	▲ 0.4	+0.3
建設業・不動産業	▲ 22.5	8.8	10.1	2.3	▲ 22.2	▲ 7.6	+14.6	0.0	+7.6
運輸業	13.3	28.6	35.3	35.3	0.0	28.6	+28.6	35.8	+7.2
卸売業	7.2	7.0	1.5	▲ 4.5	▲ 12.5	▲ 12.9	-0.4	▲ 12.9	±0.0
小売業	▲ 9.8	18.6	▲ 2.3	10.4	3.7	1.9	-1.8	1.9	±0.0
旅館・ホテル, 飲食業	40.0	58.8	50.0	25.0	57.2	0.0	-57.2	5.3	+5.3
サービス業・その他	▲ 12.5	▲ 6.6	2.1	▲ 6.1	▲ 6.0	13.4	+19.4	0.0	-13.4

### (3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、庄内地区が4.7、北部地区が▲2.0、置賜地区が▲2.9、山形地区が▲5.4、西部地区が▲5.5の順になった。前回は山形地区を除く4地区が上昇に転じたが、庄内地区を除く4地区が依然として「悪化超」の水準にある。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上山市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

#### ① 山形地区

前回は-0.7ポイントの▲5.4で、3期連続の低下。製造業では食料品・飲料や鉄鋼・金属、非製造業で卸売業、小売業、旅館・ホテル、飲

食業などを中心に弱含みの動きとなった。

#### ② 置賜地区

前回は+10.3ポイントの▲2.9で、依然「悪化超」ながら前回は大きく上昇。建設業・不動産業、サービス業・その他の改善により、非製造業が特に大きく上昇した。

#### ③ 西部地区

前回は+13.5ポイントの▲5.5で、依然「悪化超」の水準ながら、前回は全地区中最も大きく上昇した。卸売業、小売業を中心に非製造業の上昇が目立っている。

#### ④ 北部地区




































前回は+11.6ポイントの▲2.0で、依然「悪化超」ながら、1年(4期)ぶりの高水準まで上昇した。鉄鋼・金属、電気機械など、製造業における上昇幅が特に大きくなっている。

#### ⑤ 庄内地区

前回は+3.6ポイントの4.7で、全地区中唯一5期連続で「良化超」となっている。内訳をみても、製造業、非製造業ともに小幅ながら上昇する動きとなっている。

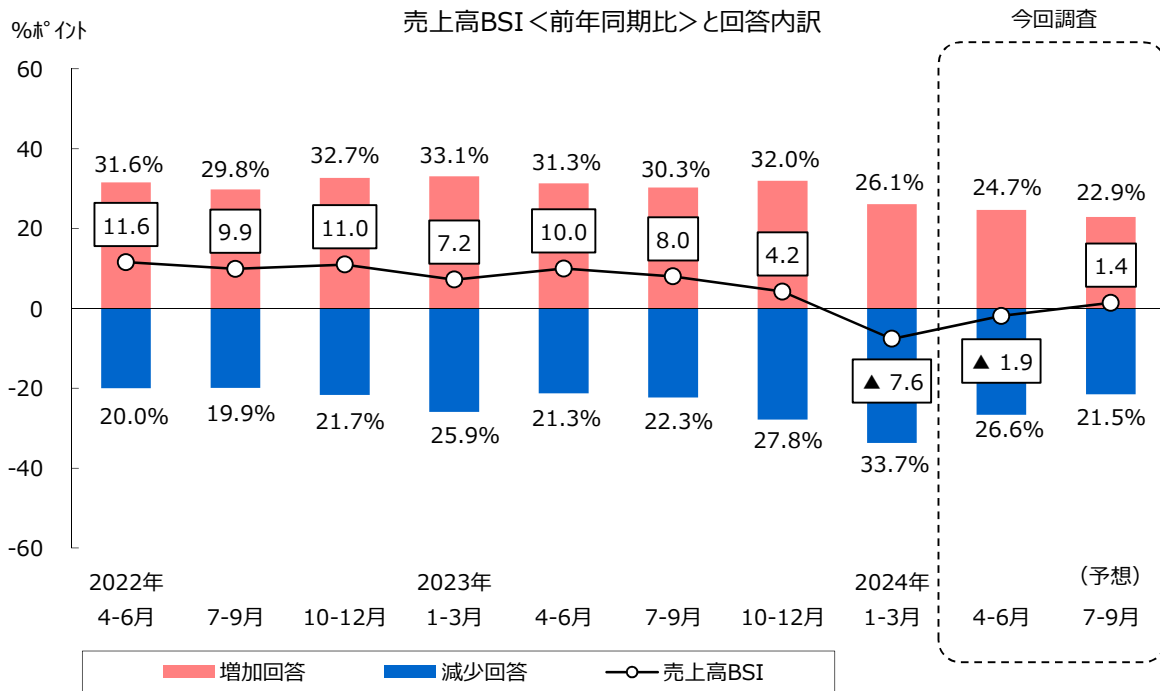
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2023年				2024年		前回は	(予想)	
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月		7-9月	今回は
山形地区								↘		↘
		▲ 6.8	3.4	8.3	0.6	▲ 4.7	▲ 5.4	-0.7	▲ 7.5	-2.1
	製造業	▲ 15.4	▲ 2.3	0.0	5.3	▲ 12.2	▲ 12.3	-0.1	▲ 12.5	-0.2
非製造業	▲ 2.8	6.0	12.3	▲ 1.8	▲ 1.0	▲ 2.1	-1.1	▲ 5.0	-2.9	
置賜地区								↗		↗
		▲ 3.3	17.2	8.7	8.9	▲ 13.2	▲ 2.9	+10.3	2.9	+5.8
	製造業	13.4	11.1	6.3	3.8	▲ 8.9	▲ 5.6	+3.3	▲ 1.8	+3.8
非製造業	▲ 19.1	23.2	11.4	14.6	▲ 17.4	0.0	+17.4	7.9	+7.9	
西部地区								↗		↘
		5.0	▲ 2.0	10.2	▲ 1.7	▲ 19.0	▲ 5.5	+13.5	▲ 7.4	-1.9
	製造業	12.1	0.0	14.8	0.0	▲ 20.6	▲ 13.4	+7.2	▲ 10.0	+3.4
非製造業	▲ 3.7	▲ 4.4	4.0	▲ 3.7	▲ 16.7	4.1	+20.8	▲ 4.2	-8.3	
北部地区								↗		↗
		▲ 17.6	7.4	▲ 2.3	▲ 11.4	▲ 13.6	▲ 2.0	+11.6	5.2	+7.2
	製造業	▲ 34.0	▲ 15.5	▲ 20.0	▲ 23.9	▲ 25.0	▲ 6.3	+18.7	6.3	+12.6
非製造業	▲ 2.0	28.0	13.1	2.4	▲ 3.8	2.1	+5.9	4.1	+2.0	
庄内地区								↗		↗
		▲ 2.5	10.1	3.7	10.7	1.1	4.7	+3.6	5.9	+1.2
	製造業	7.7	29.6	23.1	10.0	15.1	20.0	+4.9	20.0	±0.0
非製造業	▲ 7.6	0.0	▲ 5.4	11.1	▲ 6.9	▲ 3.6	+3.3	▲ 1.8	+1.8	

## 2. 売上高BSI <前年同期比>

～2期連続の「減少超」ながら、業況判断BSIとともに1年ぶりに上昇～



### (1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI <前年同期比>は、前回調査に比べ+5.7 ポイントの▲1.9 となり、依然として「減少超」のマイナス水準にあるものの、1年(4期)ぶりに上昇した。業況判断 BSI と売上高の BSI のギャップ(業況判断 BSI-売上高 BSI)は▲0.5 と非常に小さくなっており、各種コスト上昇が常態化するなかで、売上動向によって業況が左右される傾向が強まったとみられる。

こうしたなか、2024年7-9月の予想については、今回調査比+3.3 ポイントの1.4で、実現すれば3期ぶりに「増加超」となる見込み。

### (2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比+3.4 ポイントの▲1.9、非製造業は同+7.5 ポイントの▲1.8 といずれも上昇した。

#### ① 製造業

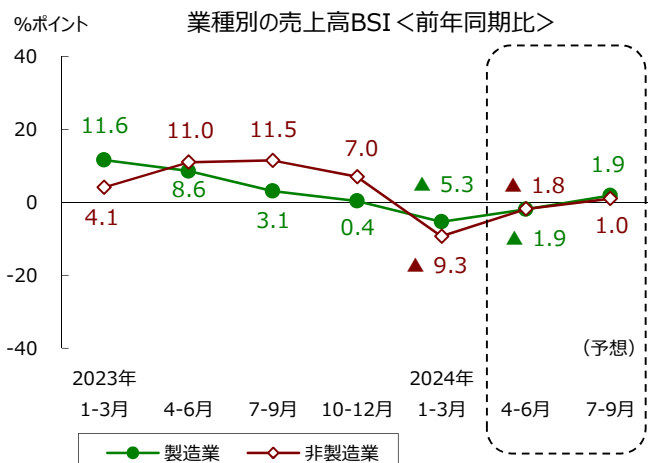
前回比では9業種中6業種が上昇し、3業種が低下した。鉄鋼・金属などが「減少超」ながら前回比で大きく上昇する半面、食料品・飲料、繊維・衣服などは「増加超」ながら前回比では

低下する動きがみられた。

#### ② 非製造業

前回比では6業種のうち上昇と低下がいずれも3業種ずつとなった。運輸業は、業況判断 BSI は大幅に改善したものの売上高 BSI は低下、逆に小売業は、売上高 BSI は上昇したものの、利益率の低下等をうけて業況判断 BSI は低下する動きとなっている。

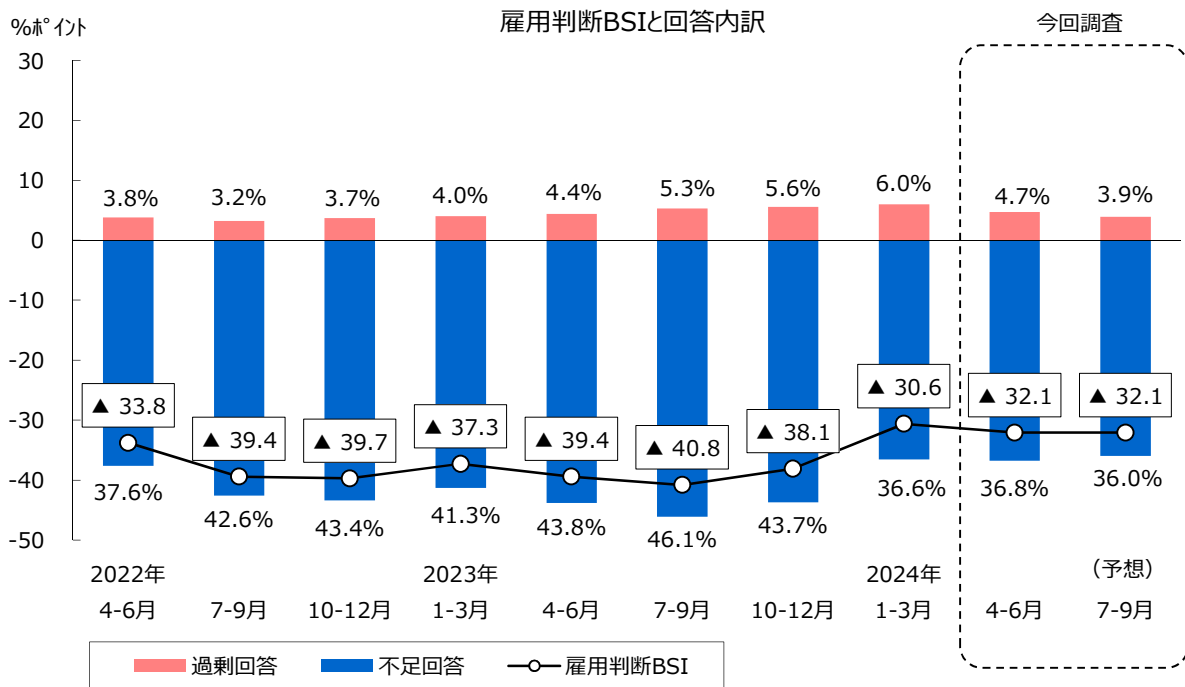
2024年7-9月の予想は、製造業が今回調査比+3.8 ポイントの1.9、非製造業は同+2.8 ポイントの1.0となる見込み。





### 3. 雇用判断BSI

～製造業を中心に人手不足感の強まりから若干の低下～



#### (1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が4.7%、「適正」が58.5%、「少ない」が36.8%で、雇用判断BSIは前回比-1.5ポイントの▲32.1となり、3期ぶりに低下した。なお、「少ない」と回答した企業のうち、「人手不足が2024年4-6月の収益機会の損失につながっている」と回答した割合は17.8%(前回16.3%)で、非製造業を中心に人手不足の悪影響が徐々に広がっているとみられる。

こうしたなか、2024年7-9月の予想は、今回調査比横ばいの▲32.1となる見込み。

#### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比-5.3ポイントの▲18.9で、2022年10-12月以来6期ぶりに低下に転じた。一方、非製造業は同+1.1ポイントの▲42.1で、2期連続の上昇となった。

##### ① 製造業

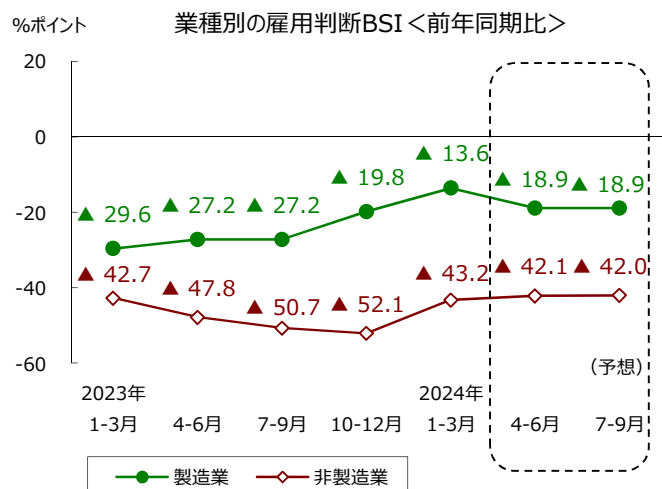
前回比では9業種のうち低下が6業種で、横ばいが1業種、上昇が2業種となった。前回調査ま

で「過剰超」であった電気機械も含め、全ての業種が「不足超」の水準となっている。

##### ② 非製造業

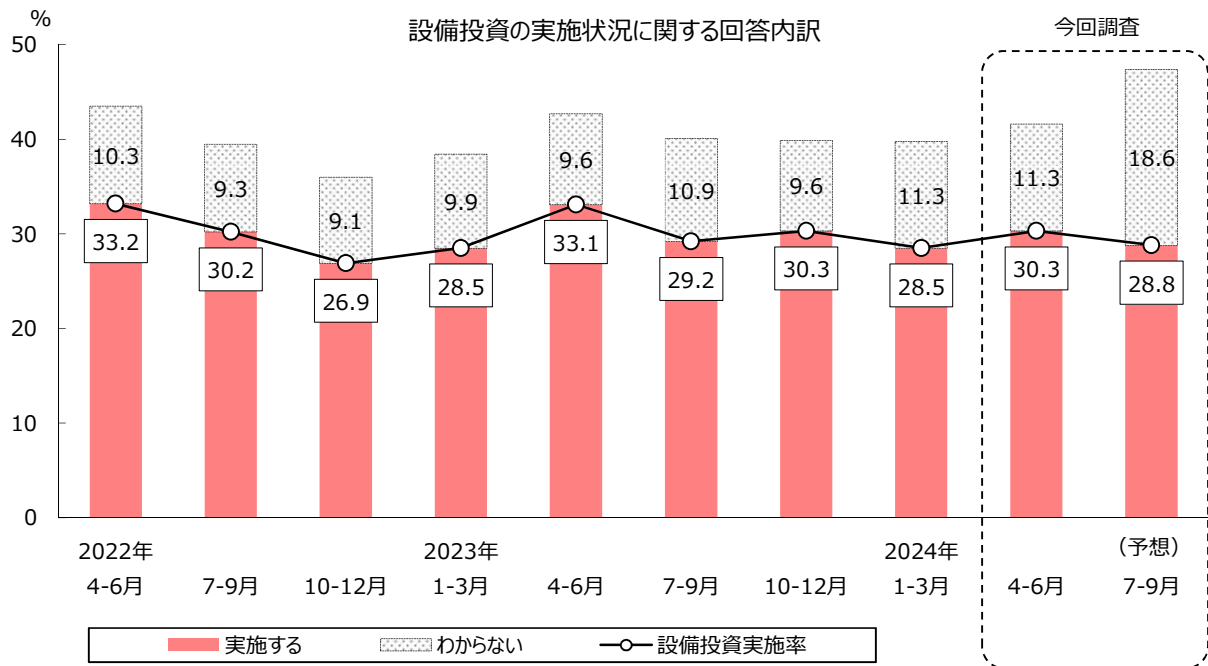
前回比では6業種中4業種が上昇し、2業種が低下した。運輸業は前回比では上昇したものの、依然として全業種中最も低水準となっている。

2024年7-9月の予想については、製造業が今回調査比横ばいの▲18.9、非製造業が同+0.1ポイントの▲42.0と、現状程度の人手不足が続く見通しが示されている。



## 4. 設備投資実施率

～製造業・非製造業ともに上昇したが、年度当初としては低め～



### (1) 全産業ベースの動向

2024年4-6月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比+1.8ポイントの30.3%となり、2期ぶりに上昇した。ただし、4-6月は年度初めにあたり例年設備投資実施率が上昇する時期であり、前年同期(2023年4-6月、33.1%)、前々年同期(2022年4-6月、33.2%)と比較するとやや低い水準にあるとみることができる。

2024年7-9月の予想については、設備投資実施率は今回調査比-1.5ポイントの28.8%となる見込み。予想時点としてはかなり高い割合となっており、計画確定に伴ってさらに上方修正されていくものとみられる。

### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比-2.4ポイントの33.2%となり、3期ぶりに低下した。一方、非製造業は同+5.0ポイントの28.2%で、1年(4期)ぶりに上昇している。ただし、製造業、非製造業ともに、前年同期(2023年4-6

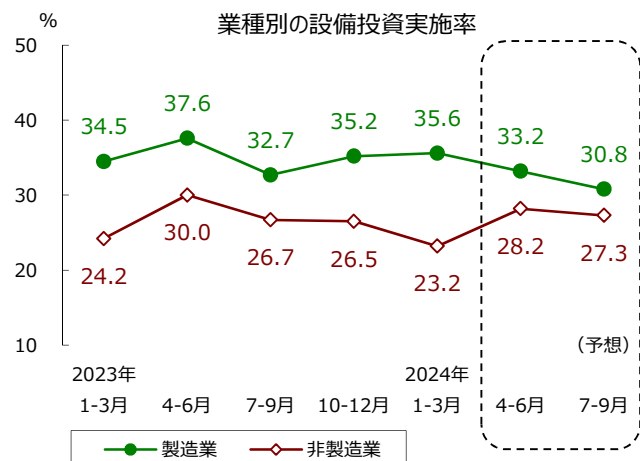
月)、前々年同期(2022年4-6月)の水準には達していない。

#### ① 製造業

窯業・土石が80.0%と非常に高い水準となったほか、食料品・飲料が46.2%、輸送機械が38.5%の順に高くなった。

#### ② 非製造業

運輸業が50.0%で最も高くなり、次いでサービス業・その他が40.4%、建設業・不動産業が30.4%の順になった。



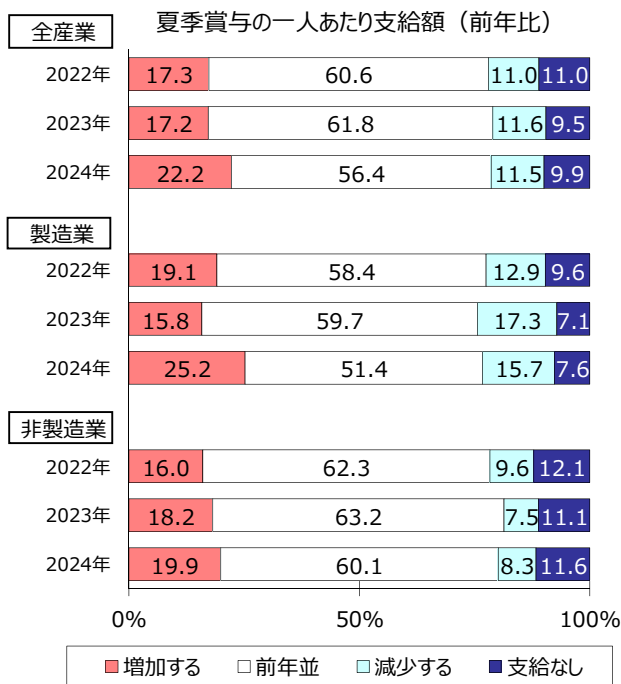


## 5. 夏季賞与について

～全体としては明確な増加傾向にあるが、一部二極化傾向も～

### (1) 一人あたりの支給額

今夏の賞与(ボーナス)の支給状況についてきたところ、一人あたりの支給額については、前年に比べ「増加する」が22.2%、「前年並」が56.4%、「減少する」が11.5%、「支給なし」が9.9%となった。「増加する」との回答割合は、前年調査(2023年4-6月)に比べ+5.0ポイント上昇し、「減少する」と「支給なし」を合わせた回答割合(21.4%)を上回る水準となっている。春季賃上げによる給与水準の上昇などもあって、今夏のボーナスは明確に増加傾向を示している。



#### ① 製造業

製造業では「増加する」が25.2%、「前年並」が51.4%、「減少する」が15.7%、「支給なし」が7.6%となった。「増加する」の割合は、前年調査に比べ+9.4ポイントと大幅に上昇し、「減少する」と「支給なし」を合わせた割合(23.3%)を上回った。

詳細業種別にみると、9業種中、木材・家具と鉄鋼・金属を除く7業種で「増加する」の割合が前年調査に比べて上昇した。なかでも繊維・衣服と窯業・土石については、前年調査に

業種別の夏季賞与の一人あたり支給額 (前年比)

(単位: %、%ポイント)	増加する	前年並	減少する	支給なし
製造業	25.2 (+9.4)	51.4	15.7	7.6
食料品・飲料	33.3 (+6.8)	48.7	7.7	10.3
繊維・衣服	33.3 (+25.0)	46.7	6.7	13.3
木材・家具	33.3 (-2.4)	60.0	6.7	0.0
窯業・土石	40.0 (+27.5)	30.0	20.0	10.0
鉄鋼・金属	19.0 (-3.7)	42.9	28.6	9.5
電気機械	29.2 (+13.8)	62.5	8.3	0.0
一般機械	11.6 (+8.7)	51.2	32.6	4.7
輸送機械	23.1 (+16.0)	53.8	7.7	15.4
その他 製造業	23.3 (+10.8)	56.7	10.0	10.0
非製造業	19.9 (+1.7)	60.1	8.3	11.6
建設業・不動産業	17.7 (+2.1)	64.6	8.9	8.9
運輸業	28.6 (±0.0)	50.0	14.3	7.1
卸売業	23.0 (+6.1)	49.2	13.1	14.8
小売業	15.4 (-3.2)	71.2	1.9	11.5
旅館・ホテル、飲食業	5.3 (-30.0)	52.6	10.5	31.6
サービス業・その他	27.5 (+11.9)	60.8	5.9	5.9

※ ( ) 内は前年との差。

比べて「増加する」の割合が20ポイント以上も上昇するなど、増加傾向が強まっている。ただし、「増加する」の割合が上昇した業種においても、食料品・飲料、窯業・土石、一般機械などでは、「減少する」と「支給なし」を合わせた割合も同時に上昇しており、二極化含みである様子がうかがえる。

#### ② 非製造業

非製造業では「増加する」が19.9%、「前年並」が60.1%、「減少する」が8.3%、「支給なし」が11.6%となった。「増加する」の割合は、前年調査に比べ+1.7ポイントと4年連続で上昇しているが、「減少する」+「支給なし」を合わせた割合(19.9%)も同+1.3ポイント上昇し、製造業よりも二極化傾向が強く表れた。

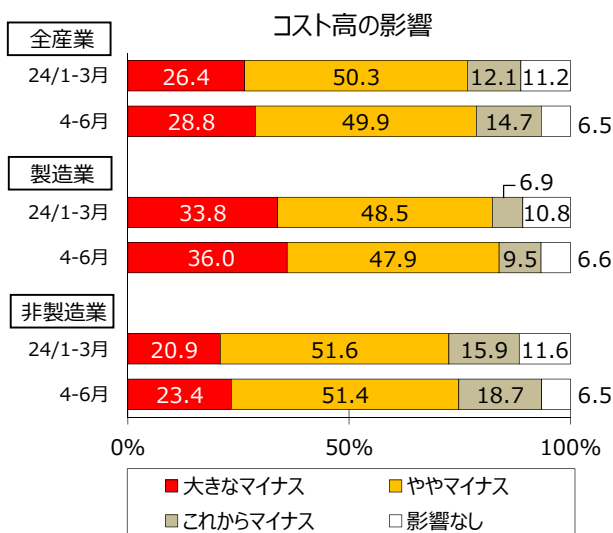
詳細業種別にみると、「増加する」の割合は6業種中3業種で上昇したが、このうち「減少する」+「支給なし」の割合が低下したのは建設業・不動産業のみとなっている。また、前年調査において「増加する」の割合が30%超となっていた旅館・ホテル・飲食業は、今回調査では5%台まで低下し、代わって「減少する」+「支給なし」の割合が40%超に上昇するなど、一転して減少傾向となっている。

## 6. コスト上昇の影響

### ～コスト上昇の影響拡大が続くなか、価格転嫁も徐々に進展～

#### (1) コスト上昇の影響

2024年4-6月において、各種コスト上昇が業況に影響を与えているかどうかきいたところ、「大きなマイナスの影響がある」が28.8%、「ややマイナスの影響がある」が49.9%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が14.7%、「あまり影響はない」が6.5%となった。現在マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は78.7%で、前回(76.7%)からさらに上昇するなど、コスト上昇による業況下押しの裾野が引き続き拡大していることが確認される。



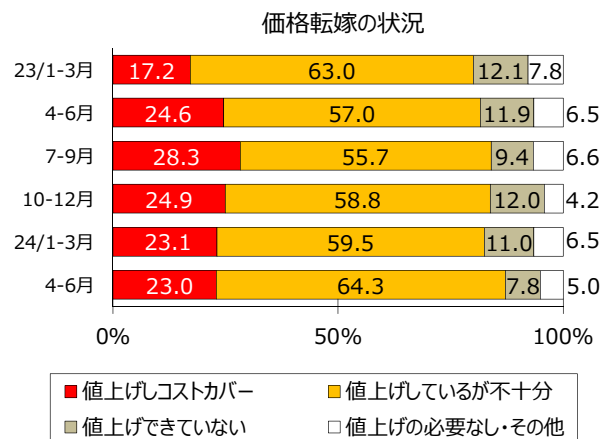
現在マイナスの影響があるとする割合は、製造業では83.9%、非製造業では74.8%となっており、いずれも前回比で上昇した。さらに詳細業種別にみると、製造業では食料品・飲料(94.9%)、繊維・衣服(93.3%)、木材・家具(93.3%)、非製造業では運輸業(100.0%)が90%を超える特に高い割合を示している。

#### (2) 価格転嫁の状況

2024年4-6月におけるコスト上昇分の取扱製品・サービスへの価格転嫁の状況についてきいたところ、「値上げをしており、コスト上昇分をおおむねカバーできている」が23.0%、

「値上げをしているが、コスト上昇分をカバーするには不十分である」が64.3%、「値上げをしたいが、全くできていない」が7.8%、「コスト上昇は軽微であり、値上げを行う必要はない」他が5.0%となった。値上げをしているとする割合(「値上げしコストカバー」+「値上げしているが不十分」)は87.3%で、2023年1-3月の当該項目調査開始以来最も高い割合となったが、このうち「値上げしコストカバー」の割合については3期連続で低下する動きもみられた。

一方、「値上げをしたいが、全くできていない」の割合は、調査開始以来最も低い割合となった。詳細業種別にみても、製造業では前回調査時に高い割合となっていた輸送機械が25.0%から23.1%に、電気機械が24.1%から16.0%に低下している。非製造業についても、サービス業・その他が22.0%から11.5%に低下しており、これまで遅れ気味であった業種においても価格転嫁の動きが徐々に広がっている様子が見える。なお、前回に比べ「値上げできていない」とする割合が大きく上昇したのは、製造業・非製造業あわせて木材・家具製造業のみとなっており、7.7%から20.0%に上昇する動きがみられた。輸入材などの原材料価格の値上がりにより、価格転嫁が追いつかないケースが再び増えているものと推測される。



以上

## 参考：業種別総括表

2024年4-6月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資 実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	489	▲ 2.4	+6.2	▲ 1.9	+5.7	▲ 32.1	-1.5	30.3	+1.8
		▲ 0.4	+2.0	1.4	+3.3	▲ 32.1	±0.0	28.8	-1.5
製造業	211	▲ 4.7	+6.6	▲ 1.9	+3.4	▲ 18.9	-5.3	33.2	-2.4
		▲ 0.4	+4.3	1.9	+3.8	▲ 18.9	±0.0	30.8	-2.4
食料品・飲料	39	0.0	±0.0	20.6	-4.4	▲ 15.3	-1.4	46.2	+18.4
		▲ 5.1	-5.1	12.8	-7.8	▲ 12.8	+2.5	41.0	-5.2
繊維・衣服	15	20.0	-26.7	20.0	-33.3	▲ 33.3	±0.0	26.7	-6.6
		▲ 26.7	-46.7	▲ 6.6	-26.6	▲ 26.7	+6.6	33.3	+6.6
木材・家具	15	▲ 26.7	+19.4	▲ 26.7	+16.1	▲ 13.3	+1.0	13.3	-32.9
		20.0	+46.7	13.3	+40.0	▲ 13.3	±0.0	26.7	+13.4
窯業・土石	10	0.0	±0.0	0.0	+22.2	▲ 10.0	+12.2	80.0	+35.6
		▲ 10.0	-10.0	▲ 10.0	-10.0	▲ 10.0	±0.0	40.0	-40.0
鉄鋼・金属	21	▲ 4.8	+21.3	▲ 4.8	+21.3	▲ 38.1	-12.0	19.0	-20.1
		4.8	+9.6	4.8	+9.6	▲ 38.1	±0.0	23.8	+4.8
電気機械	25	▲ 12.0	+8.7	▲ 16.0	+1.3	▲ 12.0	-18.9	28.0	-6.5
		▲ 20.0	-8.0	▲ 20.0	-4.0	▲ 20.0	-8.0	32.0	+4.0
一般機械	43	▲ 7.0	+18.7	▲ 11.6	+11.2	▲ 18.6	-4.3	30.2	+1.6
		7.1	+14.1	0.0	+11.6	▲ 16.3	+2.3	27.9	-2.3
輸送機械	13	▲ 15.4	+9.6	▲ 15.4	-7.1	▲ 30.8	-14.1	38.5	-3.2
		▲ 7.7	+7.7	▲ 15.4	±0.0	▲ 23.1	+7.7	30.8	-7.7
その他製造業	30	0.0	±0.0	3.4	+3.4	▲ 10.0	-0.9	30.0	-12.4
		16.7	+16.7	16.7	+13.3	▲ 16.6	-6.6	23.3	-6.7
非製造業	278	▲ 0.7	+6.1	▲ 1.8	+7.5	▲ 42.1	+1.1	28.2	+5.0
		▲ 0.4	+0.3	1.0	+2.8	▲ 42.0	+0.1	27.3	-0.9
建設業・ 不動産業	79	▲ 7.6	+14.6	▲ 15.1	+10.8	▲ 54.4	-6.3	30.4	+14.4
		0.0	+7.6	▲ 2.5	+12.6	▲ 54.4	±0.0	27.8	-2.6
運輸業	14	28.6	+28.6	7.1	-4.7	▲ 64.3	+12.2	50.0	-2.9
		35.8	+7.2	35.8	+28.7	▲ 71.4	-7.1	50.0	±0.0
卸売業	62	▲ 12.9	-0.4	▲ 9.7	-0.3	▲ 27.4	+2.3	18.0	+2.4
		▲ 12.9	±0.0	▲ 11.3	-1.6	▲ 27.4	±0.0	16.1	-1.9
小売業	52	1.9	-1.8	3.9	+16.9	▲ 34.6	+8.0	23.1	+0.9
		1.9	±0.0	7.7	+3.8	▲ 36.6	-2.0	23.1	±0.0
旅館・ホテル, 飲食業	19	0.0	-57.2	10.5	-46.7	▲ 57.9	+6.4	15.8	-34.2
		5.3	+5.3	10.5	±0.0	▲ 47.4	+10.5	31.6	+15.8
サービス業 ・その他	52	13.4	+19.4	15.4	+19.4	▲ 36.5	-0.5	40.4	+12.4
		0.0	-13.4	1.9	-13.5	▲ 36.5	±0.0	36.5	-3.9

上段…2024年4-6月、下段…2024年7-9月予想